

報告事項セ

平成24年度民俗芸能フォーラムの開催結果について

平成24年度民俗芸能フォーラムの開催結果について、別紙のとおり報告します。

平成25年4月23日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

## 平成24年度民俗芸能フォーラムの開催結果について

平成25年4月23日  
文化財課

無形民俗文化財は、地域の文化や歴史を生き生きと語ってくれるものとして、文化財としてのみならず、地域振興・観光の核としても注目されています。しかし、過疎化・少子高齢化による担い手不足、用具等の老朽化、社会通念の変化の影響による伝承意欲の低下など、その保存伝承にあたっては課題も多く見受けられます。

こうした状況の中、民俗芸能等の復活と地域活性化をテーマに取り上げ、やむを得ず中断した行事や芸能を復活し、地域の再結束や活性化につなげた事例を紹介するとともに、今後の保存伝承について討議するためにフォーラムを開催しました。

- 1 日 時 平成25年3月23日（土）午後1時30分～4時
- 2 場 所 倉吉未来中心セミナールーム3
- 3 参加者 30人
- 4 主 催 鳥取県教育委員会
- 5 内 容  
テ ー マ 「民俗芸能等の復活と地域活性化」  
事例報告1 御幸祭における神輿担ぎの復活（宇倍神社春祭り実行委員会）  
事例報告2 宇野三ツ星盆踊り保存会  
事例報告3 福岡神社神事  
パネルディスカッション「民俗芸能等の復活と地域活性化」



講演風景



ディスカッション風景

### 参 考

- 平成21年度 民俗芸能を保存伝承していくために ～助成制度の活用と効果～
- 平成22年度 民俗芸能の後継者育成について ～学校・公民館との連携の可能性～
- 平成23年度 民俗芸能の披露と保存伝承